

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和2年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)建設管理課・公園課／(都市計画部)みどり課・赤山歴史自然公園整備室

●施策の基本方針(目標)

本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(令和2年度)	現状値	44.8(平成27年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	46.7	47.9	47.4	48.4	51.7
	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%
指標②	目標値	3,240(令和2年度)	現状値	1,830(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	1,930	2,085	2,085	2,110	2,122
	名称	親水護岸の整備延長			単位	m
指標③	目標値	200,000(令和2年度)	現状値	196,473.51(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	187,253.82	181,884.82	185,003.32	185,003.32	184,552.32
	名称	保全すべき緑地の確保			単位	m ²
指標④	目標値		現状値		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	
指標⑤	目標値		現状値		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	

(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業費	1,154,911	1,874,026	781,791	740,451	1,434,141
概算人件費	99,970	117,078	153,102	154,682	166,453
総事業費	1,254,881	1,991,104	934,893	895,133	1,600,594

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
B	単位施策① 54	単位施策② 54	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
B			54.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 水辺環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
41100101	芝川緑化期成同盟会補助金	建設部 建設管理課	1,000	1,000	1,000	1,000	628	54	現状維持で実施
			概算人件費 7,954	概算人件費 7,566	概算人件費 7,663	概算人件費 7,663	概算人件費 7,663		

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
41200101	緑化推進事業	都市計画部 みどり課	19,108	14,177	15,177	12,626	12,651	54	現状維持で実施
			概算人件費 15,580	概算人件費 14,040	概算人件費 14,220	概算人件費 14,220	概算人件費 14,220		
41200201	緑地保全事業	都市計画部 みどり課	22,955	21,523	19,607	16,296	17,533	56	現状維持で実施
			概算人件費 24,600	概算人件費 23,400	概算人件費 23,700	概算人件費 31,600	概算人件費 31,600		
41200211	荒川運動公園施設運営費	建設部 公園課	—	20,293	20,670	23,096	19,535	50	現状維持で実施
			概算人件費 —	概算人件費 3,120	概算人件費 8,374	概算人件費 8,374	概算人件費 8,374		
41200221	都市公園指定管理者管理費	建設部 公園課	320,520	320,520	320,520	323,489	327,590	56	拡充して実施
			概算人件費 1,230	概算人件費 1,170	概算人件費 1,580	概算人件費 1,580	概算人件費 1,580		
41200233	生産緑地等管理業務システム化事業(平成30年度をもって完了)	都市計画部 みどり課	—	—	1,220	—	—	—	—
			概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 23,700	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200301	荒川運動公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部 公園課	54,708	—	—	—	—	—	—
			概算人件費 3,280	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200601	仮称石神西立野第7公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部 公園課	42,304	—	—	—	—	—	—
			概算人件費 2,050	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200701	仮称戸塚東部第2公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部 公園課	23,643	—	—	—	—	—	—
			概算人件費 1,640	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200731	青木町公園駐車場整備事業(平成29年度をもって完了)	建設部 公園課	—	76,075	—	—	—	—	—
			概算人件費 —	概算人件費 2,730	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200771	仮称前川3丁目第6公園整備事業(平成29年度をもって完了)	建設部 公園課	—	33,966	—	—	—	—	—
			概算人件費 —	概算人件費 2,730	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —		
41200804	赤山歴史自然公園整備事業	都市計画部 赤山歴史自然公園整備室	665,147	1,369,474	388,089	328,557	816,890	58	現状維持で実施
			概算人件費 39,536	概算人件費 34,242	概算人件費 46,215	概算人件費 47,005	概算人件費 54,036		
41200901	緑の日推進事業(令和2年度休止)	都市計画部 みどり課	1,800	1,500	1,500	979	—	—	—
			概算人件費 1,640	概算人件費 2,340	概算人件費 2,370	概算人件費 2,370	概算人件費 —		
41200951	第2次緑の基本計画策定事業(平成30年度をもって完了)	都市計画部 みどり課	—	8,003	7,776	—	—	—	—
			概算人件費 —	概算人件費 23,400	概算人件費 23,700	概算人件費 —	概算人件費 —		
41201201	公園施設長寿命化計画策定事業	建設部 公園課	3,726	7,495	6,232	3,080	6,160	54	他事業に統合されて実施
			概算人件費 2,460	概算人件費 2,340	概算人件費 1,580	概算人件費 1,580	概算人件費 1,580		
41201301	特定生産緑地地区指定検討事業	都市計画部 みどり課	—	—	—	10,725	9,692	54	現状維持で実施
			概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 31,600	概算人件費 31,600		
41201351	保全緑地等公有地化事業	都市計画部 みどり課	—	—	—	—	13,090	56	現状維持で実施
			概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 7,900		
41201401	樹木管理指針策定事業	建設部 公園課	—	—	—	8,800	8,690	52	完了
			概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 —	概算人件費 3,950	概算人件費 3,950		

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41201501	公園緑地公有地化事業 (令和2年度休止)	建設部 公園課	—	—	—	2,343	—	—	—
			—	—	—	790	—		
41201604	沼田公園整備事業	建設部 公園課	—	—	—	9,460	201,682	52	効率化して 実施
			—	—	—	3,950	3,950		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41100101	事業名称	芝川緑化期成同盟会補助金			事業区分	通常事業
担当	建設部	建設管理課	問い合わせ先	258-1110(＃33-5212)		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ① 水辺環境の整備					
根拠法令等	芝川緑化期成同盟会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	芝川緑化期成同盟会			旧芝川周辺を利用する市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	行政による河川環境整備に加え、地域住民の理解と協力を得ながら旧芝川の緑化整備を促進し、もって川口市の都市環境改善に寄与することを目的とする。			緑化事業及び県への要望活動等に対して経費の一部を補助する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な実績		
	・要望活動 ・植栽			項目	実績	単位
				要望活動	1	回
事業の成果【定性的評価】				植栽	200	株
	旧芝川の緑化整備が促進されたこと及び県の整備事業等の進捗により、都市環境の改善に貢献した。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧芝川河川敷に植栽した株数			指標・目標値の説明(算定式)	毎年度樹木等の価格変動を反映して設定している。				
	単位	株	指標の種別	活動		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	720		550	200					
	実績値・達成状況	720	達成	550	達成	200	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	01項	01目	004細目	01細々目	芝川緑化期成同盟会補助金			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,000	1,000		1,000		1,000	1,000			
決算額(B)=(C)+(D)	1,000	1,000		628						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,000	1,000		628		1,000			
概算人件費(E)	7,663	7,663		7,663		7,663	7,663			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,663	8,663		8,291		8,663	8,663			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	会員及び事業費が年々減少するなか、事業をどのように継続していくかが課題である。今後の同盟会のあり方について、総会や委員会等で検討を依頼する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41200101	事業名称	緑化推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	258-1110(#33-5322)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民、市民ボランティア、事業者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進めるため。	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・公園花壇や街路の花壇スタンドなどのボランティア活動支援 ・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集 ・苗木の配布、生け垣設置・屋上緑化等の補助 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化指導及び緑化補助による宅地の緑化 ・緑化ボランティア活動支援による公共空間の緑化 ・事業資金に充てるため、フラワーロードスポンサー事業及び緑の羽根や環境みどり基金の募金活動を実施 	項目	実績	単位
		緑化指導により創出された緑地面積	6,561.40	㎡
		ボランティア団体への種苗支給数	28,760	株
事業の成果【定性的評価】	宅地及び公共施設の緑化により、緑の美しい景観が創出された。	フラワーロードスポンサー協賛金額	2,020,000	円

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑化ボランティア活動団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	95		95	95	95	95	95	95	
	実績値・達成状況	92	未達成	92	未達成	90	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	002細目	01細々目	緑化推進事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	18,685	20,387		19,772		17,626		20,241		
決算額(B)=(C)+(D)	15,177	12,626		12,651						
財源※	特定財源(C)	5,174	9,015		4,171		10,776			
	一般財源(D)	10,003	3,611		8,480		6,850			
概算人件費(E)	14,220	14,220		14,220		14,220		14,220		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,397	26,846		26,871		31,846		34,461		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	ボランティアの高齢化により、今後、活動の減少、団体数の減少が懸念されることから、現在の活動に対する支援やPR活動を実施し、ボランティア数の増加や効果的な活動場所の拡大を図っていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41200201	事業名称	緑地保全事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。	同左、市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。	緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、建設部公園課の協力のもと、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者に対し、奨励金を支給した。申請を随時受付し、剪定費用の補助として、管理経費補助金を保全緑地については30万、保存樹木については10万(生け垣については3万)を上限として支給した。	項目	実績	単位
		保存樹木等管理奨励金	179	人
事業の成果【定性的評価】	公有地等で緑地の管理を行っている自然再生活動団体に対し助成金を支給し、適正管理活動により良好な緑地空間の形成が図られた。保存樹木等管理経費補助制度については、10件の申請があり、適正な緑地等の管理が図られた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者又は管理者からの申請件数					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	6	未達成	7	未達成	10	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	003細目	01細々目	緑地保全事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	20,886	18,991		20,791		24,230		24,230		
決算額(B)=(C)+(D)	19,607	16,296		17,533						
財源※	特定財源(C)	5,343	3,847		3,709		2,062			
	一般財源(D)	14,264	12,449		13,824		22,168			
概算人件費(E)	23,700	31,600		31,600		31,600		31,600		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	4.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	43,307	47,896		49,133		55,830		55,830		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	保存樹木等管理経費補助制度については、令和2年度より保存樹木(生け垣)も対象に加え、拡充して実施し、適正な維持管理を図ることができた。一方で、適正な管理ができていない保全緑地(民有地)も一部あることから、これへの対応を検討する必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41200211	事業名称	荒川運動公園施設運営費	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先 242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	施設維持管理業務 ・公園施設修繕、除草、トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	項目	実績 単位
		バーベキュー場利用者数	5,095 人
事業の成果【定性的評価】	地域住民が安全で快適に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	03細々目	荒川運動公園施設運営費	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	21,591	23,430	19,548	44,019	44,019			
決算額(B)=(C)+(D)	20,670	23,096	19,535					
財源※	特定財源(C)	20,670	23,096	19,535	30,617			
	一般財源(D)	0	0	0	13,402			
概算人件費(E)	8,374	8,374	8,374	8,374	8,374		8,374	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,044	31,470	27,909	52,393	52,393			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	緊急事態宣言の発令により、営業期間が短縮され、営業を開始した後も昨年度に比べて利用者は大幅に減少した。徹底した新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安全を確保したうえで利用者が快適に過ごせる環境を継続して整える必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41200221	事業名称	都市公園指定管理者管理費	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先 242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	(公財)川口市公園緑地公社 (一社)川口市造園業協会	公園利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 公園維持管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・清掃 ・遊具点検 ・簡易な修繕等	主な実績		
		項目	実績 単位	
事業の成果【定性的評価】	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	02細々目	都市公園指定管理者管理費	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度	
予算額(A)	320,520	323,489		327,590		347,637	347,637	
決算額(B)=(C)+(D)	320,520	323,489		327,590				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	320,520	323,489		327,590		347,637	
概算人件費(E)	1,580	1,580		1,580		1,580	1,580	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	322,100	325,069		329,170		349,217	349,217	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	新型コロナウイルス感染症により、公園利用に対する安全性が求められており、公園利用者の安全性と快適な利用環境を引き続き整える必要がある。	3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和2年度
--------	-------

事業コード	41200804	事業名称	赤山歴史自然公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言36・その他
担当	都市計画部	赤山歴史自然公園整備室	問い合わせ先	242-6341	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	国の法令:都市計画法、都市公園法、景観法 等 条例:川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速圏との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人とが交流するにぎわいあるまちづくりを進める。	・イナパーク川口の整備	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	園路整備、植栽、導水路整備、休養施設等整備、公衆トイレ設置、便益施設整備、管理施設等整備、管理施設整備、園路照明、防災行政無線設置、駐輪場整備等工事(令和2年度予定箇所完了)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	整備面積について、令和2年度の目標6.3haに対し、本年度の実施内容が予定どおり完了したため、実績も6.3haであった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公園整備面積			指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の整備予定面積8.9haに対する整備状況。				
	単位	ha	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	3.80	達成	4.70	達成	6.30	達成	8.50	達成	8.50
指標②	名称	周辺整備面積			指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の周辺整備予定面積0.1haに対する整備状況。				
	単位	ha	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	—	—	—	—	—	—	0.06	達成	0.09

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	002細目	01細々目	赤山歴史自然公園整備事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	404,165	689,663		1,334,430		2,885,390		404,416		
決算額(B)=(C)+(D)	388,089	328,557		816,890						
財源※	特定財源(C)	191,903	173,103		359,594		2,094,503			
	一般財源(D)	196,186	155,454		457,296		790,887			
概算人件費(E)	46,215	47,005		54,036		54,036		54,036		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.85	0.00	5.95	0.00	6.84	0.00	6.84	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)	434,304	375,562		870,926		2,939,426		458,452		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
58 /60	事業の全体計画に基づき、工事行程や工事内容を詳細に検討し、事業を進めてきた。今後は、令和3年度の公園北側区域の開設、令和4年度のハイウェイオアシス及び公園全体の開設を目指す、事業を進める。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41201201	事業名称	公園施設長寿命化計画策定事業	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先 242-6338	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	平成25年度までに策定した対象20公園の川口市公園施設長寿命化計画に、未策定の対象79公園を順次追加して、公園施設のうち主に遊戯施設の計画的な補修・更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。	追加対象の79公園について、遊具や工作物を対象とした公園施設の点検・調査を行い、その結果に基づき次の事項等を定める。 ・対象都市公園整備状況 ・健全度調査結果、長寿命化の具体的な対策 ・計画全体の実施効果など	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	策定済みの82公園に加え、新たに9公園の計画策定を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	当計画に基づき、適正に維持管理されている公園施設の更新等について、社会資本整備総合交付金交付要綱による公園施設長寿命化対策支援事業の対象事業として交付金を受けることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	004細目	01細々目	公園施設長寿命化計画策定事業		
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	6,232	3,080		6,160		—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	6,232	3,080		6,160					
財源※	特定財源(C)	3,000	1,500		3,000		—	—	
	一般財源(D)	3,232	1,580		3,160		—	—	
概算人件費(E)	1,580	1,580		1,580		—	—		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	—	—	—	—	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,812	4,660		7,740		—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	今後は、計画対象公園以外の公園緑地についても計画策定を検討し、予防保全管理の実施によるストックの有効活用と、公園利用者の安全・安心の確保を行う必要がある。	3年度	他事業に統合されて実施
		4年度	—
		5年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41201301	事業名称	特定生産緑地地区指定検討事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	生産緑地所有者、市民	生産緑地所有者、市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	生産緑地の当初指定から30年が経過する土地所有者に対して、今後も生産緑地制度を利用しながら営農を続けていくのかどうか、個別に申請受付を行なうとともに、個別具体的な相談事項について相談会を開催し、土地所有者の意向を汲んだ手続きを円滑に進めていく。	特定生産緑地への指定申請書の送付、事前審査等を実施するとともに申請に係る支援を行う。また、個別具体的な相談事項について、相談会の開催を行い、土地所有者の意向を汲んだアドバイス等を実施する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	特定生産緑地指定手続きに際して、申請書の送付、個別に相手方式で事前審査を実施し、今後の生産緑地地区の土地利用についての相談会を設けるとともにコールセンターを設置し、制度や申請に係る質問に対応した。また、システム既存データの更新や申請者情報を取り入れた。	項目	実績	単位
		特定生産緑地指定申請受付件数	212	人
		特定生産緑地指定申請手続支援業務委託	1	件
事業の成果【定性的評価】	委託を活用しながら申請受付や相談会を実施したことにより、土地所有者からの制度や申請に係る質問に円滑に対応することが出来た。結果として、当初想定していた以上の件数の所有者から指定手続きを進めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	006細目	01細々目	特定生産緑地地区指定検討事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	—	12,195		11,992		6,637		768		
決算額(B)=(C)+(D)	—	10,725		9,692						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	10,725		9,692		6,637				
概算人件費(E)	—		31,600		31,600		31,600		31,600	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		42,325		41,292		38,237		32,368	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	令和3年度は特定生産緑地の指定を希望しない旨の確認もあわせて行い、農地以外の土地利用を行う土地がどの程度発生するかの把握も行う。	3年度 現状維持で実施 4年度 縮小して実施 5年度 廃止

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41201351	事業名称	保全緑地等公有地化事業		事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	土地所有者、市民	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に残る貴重な緑は、市条例により保全しているが、相続に伴う開発などにより年々減少している。緑は、人々に潤いとやすらぎをもたらす、美しく、住みよいまちづくりに寄与するものであり、必要に応じて公有地化を図っていく必要がある。	特に重要な緑地を永続的に保全するため、公有地化を図る。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	東内野前町東保全緑地、安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地について、公有地化を前提とした、適正管理、利活用、施設整備等についての考え方の整理を行うための委託の実施、及び一部の測量を行った。	項目	実績	単位
		保全緑地公有地化及び適正管理検討調査委託		1 件
事業の成果【定性的評価】	保全緑地の適正管理のための方策について、樹齢の進んだ高木への対応策、部分的な整備等の検討を行った。測量により地形の把握が出来た。また、樹木の健全性の把握をしたことにより、危険木の特定、対応が一部可能となった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	006細目	01細々目	保全緑地等公有地化事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
予算額(A)	—	—		13,871		44,822		202,458
決算額(B)=(C)+(D)	—	—		13,090				
財源※	特定財源(C)	—		0		41,492		
	一般財源(D)	—		13,090		3,330		
概算人件費(E)	—		—		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		—		20,990		52,722	
							210,358	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	将来の公有地化後、人が立ち入る前提で管理を行うことを踏まえ、保全緑地の効率的な管理方法等について、コスト面の分析も含め今後も調査検討していく。併せて、公有地化のため、財源確保の検討をすすめる。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41201401	事業名称	樹木管理指針策定事業			事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	242-6338	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 31 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	道路法、都市公園法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市管理の街路樹や公共施設の樹木について、より質の高い維持管理を行い、安全で潤いある緑豊かな道路空間を提供する。	樹木管理の精通者や市民の意見を聞きながら、樹種の特性を生かした剪定手法や、年次計画による維持管理などを盛り込んだ管理指針を策定する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和2年度は公園緑地や保全緑地、また学校や庁舎等の公共施設の樹木についての管理指針を策定した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市民等に対して、安全で潤いある緑豊かな道路空間の提供を図るための、樹木管理指針を策定することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	006細目	01細々目	樹木管理指針策定事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
予算額(A)	—	8,800		8,786		—		—
決算額(B)=(C)+(D)	—	8,800		8,690				
財源※	特定財源(C)	0		0		—		
	一般財源(D)	8,800		8,690		—		
概算人件費(E)		3,950		3,950		—		—
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		12,750		12,640		—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	街路樹と公共施設等の樹木では、施設としての特性や管理手法が大きく異なり、またデータ整理に時間を要することから、街路樹編と公共施設編を2箇年に分けて指針策定を実施した。	3年度	完了
		4年度	—
		5年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	41201604	事業名称	沼田公園整備事業			事業区分	主要な事業 政策宣言43
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	242-6339	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	隣接する第2沼田公園と一体的に防災機能を備えた公園として整備を行う方針であり、災害時に周辺住民が避難できる場を提供し、平常時は市民の憩い場を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> 旧鳩ヶ谷市民プール解体工事 旧鳩ヶ谷市民プール解体設計業務委託 沼田公園実施設計委託 沼田公園用地測量委託 沼田公園整地工事 沼田公園整備工事 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	旧鳩ヶ谷市民プールの解体を実施するとともに、整備に向けた詳細設計や測量等を行った。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	プールの解体や整備に向けた詳細設計を実施できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	001細目	01細々目	沼田公園整備事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度	
予算額(A)	—	9,762		224,721		66,000	470,800	
決算額(B)=(C)+(D)	—	9,460		201,682				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		
	一般財源(D)	9,460		201,682		66,000		
概算人件費(E)	—		3,950		3,950		3,950	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		13,410		205,632		69,950	
							474,750	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
52 /60	順調に事業を進めている。	3年度	効率化して実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	完了